



御同官より直知 (出)

明後十七日(月曜日)午後一時迄召集  
成多様申進置々々右ノ同日午前十時  
ニ變更申成々々同時刻必出席申  
度議長希儀此致更申進々也

昭和四年六月十四日

樞密院書記長

副議長 藤岡友成

樞密院

六八

明治四十年六月十八日

書記官

秘書官

書記官長代理

案

昨十七日議長 宮中へ被 召別紙

勅語ヲ賜リ東溜議場へ

臨御、上清沙汰之類内閣総理大臣外務大臣列

席説明有之々尤協約案ハ公表相成之々

添附不致之此以議長ノ命ニ依リ及以子云迄

明治四十年六月十八日 樞密院 全録

樞密院

松方、修采、小島、三、内閣、書記

(江島、目、明、布、去)

六、八

秘

勅語寫

朕佛國ト親交ヲ厚クシ兩國間ニ於ケル將來誤解ノ原因ヲ除去スルハ東洋ノ平和ヲ維持スル所以ナルヲ思ヒ曩ニ内閣ニ命シ佛國政府ト協商セシムル處アリシニ今次相互ノ意思一致シ締約正成レリ其ノ詳細ニ至リテハ總理大臣及外務大臣ヲシテ之ヲ説明セシム

樞密院

日佛協約勅諭

秘

勅諭寫

朕佛國ト親交ヲ厚クシ  
ル將來誤解ノ原因ヲ除  
平和ヲ維持スル所以ナル  
閣ニ命シ佛國政府ト協  
リシニ今次相互ノ意思一  
レリ其ノ詳細ニ至リテハ  
大臣ヲシテ之ヲ説明セシ

六八



協約案

日本國皇帝陛下、政府及佛蘭西共和國政府、兩國、間、存在スル友好ノ關係ヲ鞏固ニシ且將來誤解ノ原因ヲ兩國ノ關係ヨリ全然除去セムコトヲ希望シ之カ為左ノ協約ヲ締結スルコト、決定セリ

極秘

日本國政府及佛蘭西國政府、清國ノ獨立及領土保全並清國、於テ各國ノ商業臣民又ハ人民ニ對スル均等待遇ノ主義ヲ尊重スルコトニ同意ナリ、依リ且兩締約國カ主權保護權又ハ占有權ヲ有

六條

スル領域、近邇セル清帝國ノ諸地方、於テ秩序及平和事態ノ確保セラルルコトヲ特ニ顧念スル、依リ兩締約國ノ亞細亞大陸、於ケル相互ノ地位並領土權ヲ保持セムカ為前記諸地方、於ケル平和及安寧ヲ確保スルノ目的、對シ互ニ相支持スルコトヲ約ス

右證據トシテ云々

宣言書案

日本國政府及佛蘭西國政府ハ日本國ト佛領印度支那トノ關係ニ付通商條約ヲ締結セムカ為商議ヲ開始スルコトヲ他日ニ讓リ茲ニ先ツ協定スル所左ノ如シ

日本國官吏及臣民ハ佛領印度支那ニ於テ身體ト財產保護トニ関スル一切ノ事項ニ付最惠國待遇ヲ享クヘク又佛領印度支那ノ臣民及保護民ハ日本帝國ニ於テ之ト同一ノ待遇ヲ享クヘシ但シ本協定ハ一千八百九十六年八月四日日本國ト佛蘭

西國トノ間ニ締結セラレタル通商航海條約ノ期限終了ト共ニ其ノ効力ヲ失フ